

平成24年度
実施事業

事務事業名 私立幼稚園就園奨励費補助金

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	1	安心して子どもを生み育てられるまちをつくる
施策	1	子育ての不安と負担の軽減
小分類	4	経済的負担の軽減の支援
主要な施策	1	①医療費、保育料、教育費等の支援
事務事業番号	003	事業開始年度 昭和 47 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	子育てグループ
-----	-------	-------	---------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	私立幼稚園に通園する園児の保護者の経済的負担を軽減し、もって子どもを安心して育てられる環境をつくることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	私立幼稚園を通じ保護者から申請を受け、内容審査のうえ園設置者に交付決定を行う。その後、園が保護者に対し補助金を交付する。 ▼交付園数等：市内4園～529人、市外9園～95人
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	保護者の経済的負担の軽減を図り幼児教育を推進する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則（補助基準等は、国の「幼稚園就園奨励費補助金交付要綱」による。）

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称 幼稚園就園奨励費補助金	千円	14,343	14,835	23,563	23,563	23,563
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	45,372	46,742	47,126	47,126	47,126
事業費 合計			59,715	61,577	70,689	70,689	70,689

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 補助金交付対象園児数	人	目標値	624	624	655	655	655
			実績値	647	624			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《 Check 》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
<p>国における予算措置が毎年度1/3を下回る状況で、一般財源の確保に苦慮している。</p>	<p>幼児教育の充実の観点から、今後も継続できるよう調整してきた。 申請書類の審査も補助額に影響するため、非常に重要であり入園要件等精査に努めた。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）		《 Check 》
1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 本事業は国庫補助事業であり、幼稚園振興の施策には欠かせない。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 保護者、幼稚園協会からも継続を望む声が強く、公立幼稚園が廃園となった経緯からも必要性の高い事業と考える。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 国の補助基準により実施しているため事業費が多額でもやむを得ないと考える。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 本事業の目的である、保護者に対する経済的負担の軽減という点に着目すれば、成果があがっていると考えられる。

①担当グループによる評価		《 Check 》
維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	本事業は、国の補助事業(補助率3分の1)であり、保護者の経済的負担の軽減や幼稚園教育の振興の観点から、引き続き、必要な事業と考える。

②行政評価会議による評価		《 Check 》
維持	備考	